

官業改革タスクフォース フォローアップ調査票

事項名 (所管府省名)	厚生年金基金センターの民間開放推進 (厚生労働省)
1. 根拠法令	厚生年金保険法 第159条第5項
2. 実施主体	企業年金連合会
3. 予算額	103,096,000円 (平成18年度予算額)
4. 従事者数	企業年金連合会職員数0名(全面委託)
5. 事務・事業の内容	企業年金連合会会員等の加入者、受給者のための福祉施設 事業内容は宿泊、研修等
6. 措置内容 (規制改革・民間開放の 推進に関する第1次答 申)	<p>厚生年金連合会が所有、運営する厚生年金基金センターは、厚生年金基金加入員及び受給者のための研修・保養等を目的とした施設である。平成16年度から全ての経費を利用料収入でまかなうこと(完全独立採算制)とし、国内に2箇所設置されている施設の内、完全独立採算制の達成が見込めない東京年金基金センター「セブンシティ」は、平成16年9月に閉鎖し、売却することとなり、また、京都年金基金センター「らんざん」は、平成16年度から18年度までの3年間の運営状況を見て、判断する方針となっている。</p> <p>したがって、京都年金基金センターについても、継続的に赤字運営が見られる場合には、速やかに廃止・売却すべきである。</p> <p style="text-align: center;">【平成16年度以降逐次実施】</p>
7. 講ぜられた措置	<p>東京年金基金センター「セブンシティ」は、平成16年9月末をもって閉鎖し、売却されている。また、京都年金基金センター「らんざん」においては、平成17年度から運営が民間に全面委託されており、平成18年度までに独立採算を達成できなければ廃止・売却の予定となっている。よって、現在運営状況を見守っている状況であり、平成18年度まで経過してから最終的に判断することとしたい。</p>
8. 質問事項	<p>(1) 京都年金基金センター「らんざん」について、平成17年度の運営状況をお示し頂きたい。</p> <p>(2) 京都年金基金センター「らんざん」について、平成18年度の運営計画と、運営状況の中間報告をお示し頂きたい。</p> <p>(3) 平成18年度まで経過してから最終的に判断することとしたいとの御回答であるが、具体的な判断時期をお示し頂きたい。</p> <p>回答については、(1)(2)は別紙参照。(3)は当日回答。</p>

京都年金基金センター「らんざん」について

1. 施設の概要

○ 目的

厚生年金保険法第159条第3項の規定「基金の加入員及び加入員であった者の福祉の増進を促進するため、必要な施設をすることができる」に基づき、研修・保養を目的とし、平成3年1月(同年4月オープン)に設置された。

* 現 同法第159条第5項:

「基金の加入員及び加入員であった者並びに前条第2号に規程する年金制度の加入者及び加入者であった者福祉の増進を促進するため、必要な施設をすることができる」

○ 敷地・建物

敷地面積 5,122㎡(1,549坪)※ 土地は借地
建物 鉄骨・鉄筋コンクリート造り地上2階、地下1階
面積 1,831㎡(554坪)
延べ面積 4,314㎡(1,307坪)

○ 館内施設配置

宿泊室(40室・82名)
会議室「桂川」、和室大広間「嵯峨野」、小会議室「小倉山」
レストラン「京雅」
大浴室(男女各1※H10.8増設)、娯楽室(2室)

2. 運営形態

○ 「らんざん」の経営改善については、「連合会改革の基本方針」に基づく完全独立採算制に向け、平成16年度から経営コンサルタントの導入、また、平成17年度からは民間の日本ビューホテル事業㈱に全面委託を行うなどして、その経営改善を図ってきたところである。

・運営委託先: 日本ビューホテル事業株式会社

・経営コンサルタント: 株式会社レジャー産業研究所

※ 本施設の閉鎖に係る費用は企業年金連合会の負担(運営委任契約第2条第3項)

○ 土地・建物

・土地 土地一時使用賃貸借契約(りそな信託銀行㈱)

18年度借料: 37,185,360円/年

・建物 企業年金連合会

取得価格: 1,755,570,700円(男女浴室増設含む)

3. 近年の運営状況

○らんざん(運営委託先)

〈収入・支出〉

(単位:千円)

区分	17年度	18年度(見込)	備考
営業収入	307,538	349,401	
雑収入	632	777	
収入計	308,170	350,179	
事務費等(人件費、販売管理費等)	247,761	259,855	
支出計	247,761	259,855	
収支差(剰余)	60,409	90,324	

○企業年金連合会(福祉施設経理)

〈収入・支出〉

(単位:千円)

区分	16年度	17年度	18年度(見込)	備考
事業収入	260,444	60,409	90,324	運営委託先より
雑収入	920	762	30	受取利息
業務経理からの受入	0	0	1,410	消費税戻し分
戻入金	0	0	6,050	施設補修繕
収入計	261,364	61,171	97,814	
事務費	274,290	40,466	46,736	土地借料等
業務経理への繰入	3,272	1,112	938	管理費
減価償却費	30,356	30,658	30,353	
雑支出	16,574	14,423	11,077	公租公課
支出計	324,492	86,659	89,104	
当年度剰余金	△63,128	△25,488	8,710	

※ 16年度までは企業年金連合会で運営している。

※ 17年度以降は、民間委託会社に運営を委託している。

※ 当年度剰余金 単年度剰余金の40%を運営委任報酬として支払う

(運営委任報酬:3,484千円 = 8,710千円×40%、支払後剰余:5,226千円)

〈利用状況〉

区分	16年度	17年度	18年度(見込)
宿泊者数	12,810人	16,139人	18,003人
宿泊室稼働率(40室 82名)	45.1%	60.0%	73.6%
会議室稼働率(3室)	10.1%	18.1%	19.4%

※ 16年度までは、宿泊者及び会議室の使用を厚生年金基金関係者に限定

※ 会議室は1日の販売区分を3区分(午前、午後、夜間)としている